



名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

NO 942

<本年度クラブ会長方針>

LEAD THE WAY - 率先しよう



承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 神田 憲 URL <http://www.nagoya-osu.org> Email office@nagoya-osu.org
 幹事 内藤 明 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337
 事務局 460-0008 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル 6F

2006~2007年度
 R. I. 会長
 ウィリアム B. ボイド

世界理解月間

第1101回例会

平成19年2月8日(木)
 於:名古屋東急ホテル
 会員69名

出席計算数66名中 51名出席
 出席率 77・27%
 前々回出席率 96・77%

ロータリーソング

「君が代」

「ROTTARY」

指揮者 大原 敏正
 ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

元受入青少年交換学生(01-02)

張 允暢さん

米山記念奨学生
 ジラソルランチャー・グレンティターさん
 (グレイスさん)

ピクチャー

名古屋RC 水野 金平さん

名古屋瑞穂RC 野崎 洋さん

二「ボックス

本日は神田会長を表敬訪問させて頂きました。

名古屋瑞穂RC 野崎 洋さん
 37回目の結婚記念日です。

神田 憲

昨日はI・M・出席の方へ苦勞様で

した。湯山 淳二
 岡部さん、昨日のI・Mへ苦勞様でした。オオフシシガース「苦勞様でした。日比野芳丈

風邪を引きました。仕事のしすぎかも。堀田 泰造
 観永さんお世話になりました。

草野先生ありがとうございました。小笠原和俊

誕生日です。飯田 昭夫
 誕生日です。松本 哲朗

本日で61才です。尾上 昇
 娘が檜山中学進学になりました。渡辺 観永

奥さまの誕生日です。出口 忍
 妻の誕生日です。新沼 操・杉本 英夫

妻の誕生日にすてきなお花ありがとうございました。前田 隆久

結婚記念日です。神野 邦利
 皆さんロータリーを楽しみましょう。鈴木 洋

犬飼 芳雄



2007-2008年度

地区委員会中向委嘱状伝達

岡部 快園さん

地区指名委員会委員長

諮問委員会委員長

ロータリー未来委員会委員長

カウンセラー

住田 正夫さん

国際奉仕委員会副委員長

ロータリー未来委員会委員長

杉浦 令淑さん

I-T委員会委員長

地区中編纂委員会委員長

草野 勝彦さん

年次寄付委員会委員長

新沼 操さん

社会奉仕委員会委員長

神田 憲さん

危機管理委員会委員長

米山記念奨学生

ロータリー財団よりメダル贈呈

第3回米山功勞者(マルチプル)



堀田 泰造さん・犬飼 芳雄さん
 加藤 正樹さん・木村 光徳さん
 前田 隆久さん・小澤 幸男さん
 出口 忍さん

ロータリー財団より表彰

マルチプルホルバリストアロー

犬飼 芳雄さん



おめでとうございます



ロータリー情報委員会

委員長 浅野 彰

2007-08年度のテーマ、「ロータリーは分かちあいの心」は、ロータリーを通じて「普通の人も素晴らしい仕事」がやり遂げられることを私たちに日々思い起こさせる言葉である……。本日は行われた2007年国際協議会の開会本会議で、ウィルフリッド・ウィルキンソンRI会長エレクトはこう述べました。

「ロータリーは、私たちの手と心とが成し遂げる仕事を通じて示される愛ゆえに素晴らしいと言えます。ロータリアンとして、私たちはただ「先で人類愛を語るだけではありません。ロータリアンである私たちは、その愛を實踐し、分かち合い、互いに助け合つのです。」

ロータリーにはあらゆることに「分かちあいの心」がある。米国カリフォルニア州サンディエゴ

で開かれている国際協議会に集まった500人以上の地区ガバナー・エレクトに向け、ウィルキンソン会長エレクトは語りかけました。「私たちは、私たちの時間と才能とお金を二重を抱えた人々と分かちあっています。」

さらに、次のように続けています。「ロータリーにおける分かちあいは、自分自身に不要となつたものを施すことではありません。分かちあいは、人のために我を忘れて自らを捧げることです。」

ロータリアンはただ独りで分かちあいを実行せねばならないわけではなく、単独のクラブでは地域社会への二重に匹敵できないというのであれば、世界中のロータリアンに支援を求めればよいのだ、とウィルキンソン会長エレクトは述べました。

「ロータリーは分かちあいの心」とは、単なるテーマではなく、実行への呼びかけでもあります。国際協議会で受ける研修の成果と感動を携えて次年度に臨む次期ガバナーとして、自らの指導力、スキル、そして献身を分かちあひクラブと地区をさらに充実させることに全力を傾けるよう、ウィルキンソン会長エレクトは呼びかけました。

ロータリーを分かちあつこと

は、ロータリーを強めるだけでなく、ロータリーを奉仕の第二世紀にも末永く存続させていくものです。「ロータリーは分かちあいの心」はまた、地元のロータリー・クラブに入会するよう人々を誘つことも意味しています。

「ロータリーは発展しなければ、分かちあいの心を持ち続けることはできません」と会長エレクト。ロータリーが成長していくために、次年度に1人の新会員を入会させることをクラブ会長に指導するよう、ウィルキンソン会長エレクトはすべての次期ガバナーに要請しました。

「新会員なくして、ほかを語るわけにはまいりません。(若者と新会員がいなければ)ロータリーは数十年のうちに消滅してしまつてしまいます。既にそのような残念な結果を招いたところも多々あります。」

新クラブ会員を迎え入れると、いつ大切な仕事に加え、元ロータリアンの存在も忘れてはならない、亡きロータリアンの配偶者も含め、元クラブ会員にも参加してもらつ必要がある、と会長エレクトは訴えました。

さらに会長エレクトは、人々を援助できるこの機会が二度と訪れないものであることにも触れました。

「この一年間は、地区ガバナーとして、クラブを支え、導き、皆さんの長所と愛を分かちあつチャンスです。さまざまなおことを求められる年になるでしょう。」

「今年度、ロータリーを余すところなく自由に分かちあつてくださるようお願いいたします。愛を持って、仕事に励んでいただきたいのです。そして、人々のために奉仕する行為のすべてがロータリーの魔力の一部であることを、どうか忘れないでください。その魔力とは、皆さんや私のような普通の人々にまつた想像もつかなかったような素晴らしいことを成し遂げさせる力です。」

2月22日(木)例会の御案内

「留学生を招いて」帰国報告会
元派遣青少年交換留学生
國本 築永さん

「ドイツ留学」

森 葵さん

「留学を経て」

地区青少年交換学生委員会
委員長 黒田 勝喜さん

ブリテン委員会
山口 正孝 神野 邦利・大原 敏正

RI第2760地区西名古屋分区大会 I.M.

平成19年2月7日(水) 於:名古屋マリオットホテル



ホストクラブ
名古屋東南RC

アトラクションの合唱



オオシンガーズも大活躍でした。